徳島県公立学校臨時教員候補者登録要綱

徳島県教育委員会

徳島県教育委員会が、緊急かつ一時的に教員を必要とする場合に任用する公立学校臨時教員候補者を登録しておくため、次により希望者を募集する。

１ 募集する種別及び教科等

（１）小学校教員
（２）中学校教員
（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）
（３）高等学校教員
（国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、農業、工業、水産、商業、英語、看護、福祉、情報）
（４）特別支援学校教員（視覚障害領域、聴覚障害領域、知的障害･肢体不自由･病弱領域）
（５）小・中・高等学校養護教員
（６）小・中学校栄養教員
（７）高等学校・特別支援学校実習助手
（８）特別支援学校寄宿舎指導員
※中学校は中等教育学校（前期）、高等学校は中等教育学校（後期）を含む。

２ 申請資格

次の（１）・（２）のすべての資格を備えていること。
（１）地方公務員法第１６条及び学校教育法第９条に該当しない者（別紙参照）
（２）希望する種別・教科の教育職員免許状を有する者　※上記（７）・（８）を除く。

種 別	所　有　免　許　状
小学校教員	小学校教諭専修、一種又は二種免許状［小学校教諭１級又は２級普通免許状］
中学校教員	中学校教諭専修、一種又は二種免許状［中学校教諭１級又は２級普通免許状］（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）
高等学校教員	高等学校教諭専修又は一種免許状［高等学校教諭１級又は２級普通免許状］（国語、社会、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術保健体育、家庭、農業、工業、水産、商業、英語、看護、福祉、情報）
特別支援学校教員	盲・聾・養護学校教諭専修、一種又は二種免許状［盲・聾・養護学校教諭１級又は２級普通免許状］、特別支援学校教諭専修、一種又は二種免許状
養護教員	養護教諭専修、一種又は二種免許状［養護教諭１級又は２級普通免許状］
栄養教員	栄養教諭専修、一種又は二種免許状

☆［　］内は、旧免許法による免許状

３ 申請手続き

原則として電子申請サービスを利用すること。

電子申請サービスが利用出来ない場合に限り紙媒体での提出でもよい。郵送の場合は、封筒に「徳島県公立学校臨時教員候補者登録申請書類在中」と朱書し、下記まで送付すること。

（１）小学校又は中学校教員登録希望者

徳島県教育委員会教職員課小中学校人事担当

〒770-8570 徳島市万代町１丁目 (TEL 088-621-3129)

（２）高等学校又は特別支援学校教員登録希望者

徳島県教育委員会教職員課県立学校人事担当

（住所は（１）に同じ） (TEL 088-621-3130)

４ 受付期間

随時受付をする。

５ 登 録

書類審査により、徳島県公立学校臨時教員候補者名簿（登録日から３年間有効）に登録する。

６ 任用方法

臨時教員の任用が必要な場合に、上記５の名簿に登録されている者の中から必要に応じて面接審査を行う。任用は、教科、地域等を勘案して決定する。

なお、勤務校が決定したときに次の書類を提出すること。

（１）「臨時教員任用時提出書類について（提出)」（任用時に教職員課から送付されます。当該年度内に提出済みの者を除く）【県教委へ】

（２）教員免許状授与証明書（未提出の者のみ）【県教委へ】

（３）所定の「身体に関する証明書」（当該年度内に提出済みの者を除く）【県教委へ】

（４）履歴書（任用決定までの履歴事項について、もれなく記入すること）【学校へ】

また、令和８年１２月２５日施行の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等防止のための措置に関する法律（令和６年法律第６９号）に基づき、任用時には特定性犯罪の前科の有無を確認するための犯罪事実確認手続き（本人による同意・情報提出等を含む）が必要となります。

７ 履歴事項等調査（登録の更新）について

次年度以降も臨時教員として勤務を希望する場合は、給与等を決定するために履歴事項等調査票を、電子申請サービスを利用して提出すること。電子申請サービスが利用できない場合に限り、上記３の提出先へ送付すること。

８ その他

（１）登録を抹消したい場合又は登録内容に変更が生じた場合は、上記申請先まで連絡すること。

（２）登録申請書及び履歴事項等調査票は、徳島県教育委員会教職員課に常置するとともに、徳島県ホームページからダウンロードできる。

【徳島県ホームページ】https://www.pref.tokushima.lg.jp/

⇒ 県政情報 ⇒ 組織 ⇒ 教育委員会 ⇒ 教職員課 の順にクリックし、

右側の ティーチャーズバンク・マイスターバンク から。

（別紙）

地方公務員法第１６条及び学校教育法第９条について

徳島県教育委員会

【地方公務員法第１６条】

（欠格条項）

第１６条　次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。

一　拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

二　当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から２年を経過しない者

三　人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第６０条から第６３条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者

四　日本国憲法施行の日以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

【学校教育法第９条】

第９条　次の各号のいずれかに該当する者は、校長又は教員となることができない。

一　拘禁刑以上の刑に処せられた者

二　教育職員免許法第１０条第１項第２号又は第３号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から３年を経過しない者

三　教育職員免許法第１１条第１項から第３項までの規定により免許状取上げの処分を受け、３年を経過しない者

四　日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

徳島県公立学校臨時教員候補者登録申請書

種　　別		教　　科	
申請年月日	令和　　年　　月　　日	受審番号	
※ 登録年月日	令和　　年　　月　　日	※ 登録番号	

(ふりがな)（　　） 氏　名 男・女・回答しない 昭和・平成　　年　　月　　日生（　　歳）	＊写真 最近６か月以内撮影のもの 上半身・脱帽・正面向き 縦４cm×横３cm

現住所 (連絡先)	〒 携帯　　（　　）TEL（　　） メールアドレス
勤務先住所 (連絡先)	〒 TEL　　（　　）
帰省先住所 (大学卒業後の連絡先)	〒 TEL　　（　　）
最終学校	昭和・平成・令和　　年　　月　　日 卒業・卒業見込

	種類	教科	取得（見込）年月日	修了確認期限または有効期限
免許状				

専攻科目	教科が社会、理科、工業の場合に記入		
資格・特技等 (指導できる部活動)			
勤務形態	通勤（自家用車、ＪＲ、バス、その他）・宿泊勤務・いずれでも可		
希望任地	希望郡市名（　　・　　・　　・　　）、県内どこでも可		
得意教科		自動車運転免許の有無	有　・　無
その他希望事項			

（注）１　※印の欄には記入しないこと。
　　２　高等学校教員（看護）に登録する者は、免許状の種類欄に看護師又は看護婦免許状も記入すること。
　　３　勤務形態・希望任地・自動車運転免許の有無は、該当項目を○で囲むこと。
　　４　得意教科は、所有免許状以外に担当できる教科を記入すること。

履　歴　事　項

期　　間	学歴、職歴（学歴は高等学校から記入し、職歴は勤務先及び職名を記入すること。）
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	
年 月 日 ～　　年 月 日	

賞罰	年　月　日	賞　罰　の　内　容

○教員になって特に取り組んでみたい事柄（勤務形態の希望等があれば、合わせて記入してください。）

記載事項が事実であること並びに、地方公務員法第１６条各号及び学校教育法第９条各号のいずれにも該当しないことを誓います。

令和　　年　　月　　日　　氏名

（注）学歴、職歴欄不足のときは、はり紙をして記入すること。

※以下の欄は記入しないこと

面接日（　　年　　月　　日） 面接者（　　）・（　　）	整理番号		

徳島県公立学校臨時教員候補者登録に係る留意事項

＜登録申請書の記入について＞

○種　　別　・小学校、中学校、小・中学校養護教諭、小・中学校栄養教諭、高等学校、高等学校養護教諭、特別支援学校のように記入すること。

○教　　科　・中学校、高等学校の場合は、その教科を記入すること。
・特別支援学校の場合、その領域を記入すること。

○現　住　所（連絡先）　・電話番号は自宅と携帯を所有している場合は、携帯の番号も記入し、連絡可能なメールアドレスを記入すること。

○最 終 学 校　・大学院修了（見込）者は、大学と大学院の両方について記入すること。

○免　許　状　・所持する免許状を記入すること。
・取得（見込）年月日のほか、修了確認期限または有効期限を記入すること。

○資格･特技等　・特になければ、無記入でも可。

○勤 務 形 態　・希望する項目を○で囲むこと。

○希 望 任 地　・希望する項目を○で囲むこと。希望する郡市がある場合は、該当欄に郡市名を記入すること。

○履 歴 事 項　・学歴は、高等学校から記入し、最終学校までの期間が引き続いていない場合は、その間の経験、在学中の職歴等も記入すること。
・家庭にいた期間は、昭和（平成、令和）○年○月○日～昭和（平成、令和）○年○月○日の期間「在家」と記入すること。
・職歴については、日付順に職名、正規又は臨時、常勤又は非常勤、期間等を正確に記入すること。特に非常勤の場合は、週当たりの時間数を（ ）書きで記入すること。
・通信教育部への編入及び修了についても記入すること。
・賞罰は、該当しない場合、「賞罰なし」と記入すること。
・記入欄が不足した場合は、はり紙をして記入すること。
・記入例を参考に正確に記入すること。

＜記入例＞

履　歴　事　項

期　　間	学歴、職歴（学歴は高等学校から記入し、職歴は勤務先及び職名を記入すること。）
H19年 4月10日～H22年 3月 8日	徳島県立〇〇高等学校
H22年 4月12日～H26年 3月31日	〇〇大学教育学部中学校教員養成課程
H26年 4月 1日～H27年 9月30日	〇〇産業株式会社総務課パート（週20時間）
H27年10月 1日～H28年 3月31日	在家
H28年 4月 1日～H29年 3月30日	〇〇市〇〇小学校助教諭（常勤）
H29年 4月 1日～H29年 9月30日	〇〇郡〇〇中学校非常勤講師（週8時間）
H29年10月 1日～R元年 5月31日	在家
R元年 6月 1日～R２年 3月30日	徳島県立〇〇高等学校講師（常勤）
R２年 4月 1日～R２年 3月30日	
年　月　日～　年　月　日	
年　月　日～　年　月　日	

賞罰	年　月　日	賞　罰　の　内　容
		賞罰なし

〇教員になって特に取り組んでみたい事柄（勤務形態の希望等があれば、合わせて記入してください。）

記載事項が事実であること並びに、地方公務員法第１６条各号及び学校教育法第９条各号のいずれにも該当しないことを誓います。

令和　　年　　月　　日　　氏名

（注）学歴、職歴欄不足のときは、はり紙をして記入すること。

※以下の欄は記入しないこと

面接日（　　年　　月　　日） 面接者（　　）・（　　）	整理番号		

身 体 に 関 す る 証 明 書

現　住　所	
氏　　名	
生 年 月 日	昭和・平成　　年　　月　　日生

1　身　　長		6　既 往 症	
2　体　　重			
3　視　　力	（矯正） 右　　右 左　　左	7　胸部Ｘ線 検査結果 所見	
4　聴　　力	右 左		
5　疾病及び 異状			

上記のとおり証明する。

令和　　年　　月　　日

病院（保健所・診療所・医院等）名

医師氏名　　㊞